

教師力アップセミナーアンケート結果

1月14日（月）白石 範孝 先生

アンケート提出者98名

※ 全員が「よかった」と回答

・段落のつかみ方等、明日の授業からすぐに使えることをたくさん教えていただき大変勉強になった。目からうろこ！驚きがたくさんあった。早速実践していきたい。（多数）

・国語の授業ではとても悩んでいた。実際に教材を使い、国語の論理的な指導方法を具体的に教えていただいた。特に詩は難しいと思っていたが、そこにも理論や原理があることが分かった。（多数）

・国語の授業で何を学ばせるのか、感覚とイメージでとらえていた。詩・文学作品・説明文を読み解くための技術を具体的に教えていただき、論理的に読むということがよく分かりました。（多数）

・自分がとても勉強不足、教材研究不足だったことが改めてわかった。国語も論理的にできていて、原理原則を大事にして教材研究をしなければと思った。国語についてさらに学びたいと思った。（多数）

・国語の授業を通して、子どもたちにどんな読みの力を身につけさせるのかを考えて、授業研究をしていきたい。考えさせる授業を是非やってみたい。（多数）

・自分の授業がつまらなさと感じていた。授業で不安に思っていたことが、今回のセミナーで解決できることがたくさんあった。教材研究を一からやり直したい。（多数）

・作品全体を読んでから、細部に移るというところが参考になった。

・文章というものがどのようにできているのかということがよく分かった。

・教材を指導するだけでなく、教科を指導することが大切なのだ学ぶことができた。

・漢字の部首についても原理・原則があることに驚いた。

・「国語は論理である」はっとさせられました。

・納得できる授業のためには、まずは教師自身が納得してやらなければならないと強く感じた。

・学習用語の大切さが分かった。

・「スピード数えうた」「てるてるぼうず」の詩は是非実践してみます。

・根拠・原理・原則、今までの国語に大きく欠けていた点ではないかと思った。

・国語と算数の授業は全く別物だという認識でいたが、同じだということが理解できた。子どもが夢中で取り組む課題づくりをしたいと思う。

・低・中・高学年と教えなければいけないことがあり、自分に任された1年の重みを感じた。

・白石先生の著書は読んでいたが、生でお話を聞くと細かいニュアンスが伝わってきて、新しい発見が多く、濃い時間をありがとうございました。

・野口先生と重なる部分がたくさんあり、国語課で身につけさせたい力がどういうものなのかが分かった。

・白石先生の講義は2度目だが、また新たな発見があった。

・白石先生の大ファンです。「3段階の読み」をがんばって実践しています。教材を通して子どもたちに読みの力をつけていくという授業者としての自分の気持ちを大切にしたい。

・論理的な国語の授業が世の中にもっと広がるとよいと思った。

・国語は好きでしたが、こんなに面白いと思ったのは初めてだった。

・明確な説明で、一つ一つ納得しながら、お聞きすることができた。

・今年度のセミナーの中で一番力がついたセミナーだった。

・久しぶりに手ごたえのある話が聞けた。

・板書の下の方が見えなかったので、黒板・ホワイトボードがもう少し上にあるとよかったです。

<セミナーで話を聞いてみたい講師>

池田修先生 尾木直樹さん 土作彰先生 金大竜先生 細水先生（筑波大附属小） 二瓶弘行先生 あじみね先生 原田隆先生 志水廣先生 大西先生 直山木綿子先生 金森としろう先生 田中先生（筑波大附属小 算数） 斉藤 孝先生 桂聖先生（筑波大附属小） 田尻先生（外国語） 俵原先生

<次回セミナー講師 有田先生にお聞きしたい内容>

・社会科は説明で終わってしまいがちです。子どもに問題意識を持たせるコツを教えてください。

・ノートをどう作っていけばよいか。どこに重きをおいて教えればよいか。

・資料の集め方

・単元を貫く学習問題の作り方

・社会科で、どのように「討論」の授業に結びつけるか

・思考力をつけるための方策